

みなさまに慣れ親しんだ尾崎八幡宮前の宮前桜 二本の伐採後のこの約一年の水中保存記録

はじめに

赤穂市尾崎八幡宮前に咲くソメイヨシノの3本の桜。

昭和57年前後に植栽されたとゆう

令和元年、道路拡張工事に伴いやむなく2本が伐採

お知り合いの方を通じて「この桜を連れて帰らないか？」
のお声をいただきました。

伐採後は処分されてしまう事をお聞きし、尾崎の地に
根付き慣れ親しんだ桜をあっけなく処分されるには惜
しい桜でしたので、連れて帰る事を決めました。

人々の心を魅了する花を咲かすとゆう御役目は終わ
りましたが、何かに生まれ変われるならもう一度尾崎
の町やみなさまに形ある物を残そうと思い、現在ではあまり
見られなくなった工程の水中乾燥処理を約一年初めにし、
長い月日をかけ復活させる事が目的とした試みです。

伐採からこの約一年作業場の水中にて処理（保存）しておりました。
SNS等では記録は配信し、たくさんの方からこの桜の思い出がある事
を知りました。



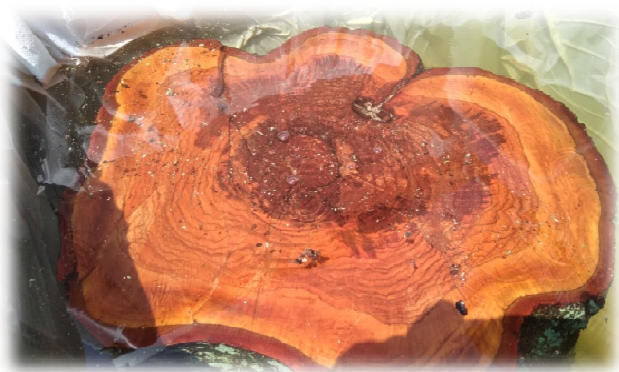


R1 7/30伐採、撤去 作業場に7



大きな丸太は3つの水槽に分け





8つの樽、浴槽2基にては細いもの40本程を水中浸け





徐々に濁り始め表面が見えなく樹液で覆われます。



一ヶ月後

木を乾燥するのに水中につけると腐るんじゃないの？

のお声もいただき、完全に水中に沈めていると外の空気に触れないので木によって可能です。



10月末日、夏が終わり害虫も少なくなったので一度汚れている水槽の水を入替のため水中ポンプで水抜き作業をいたしました。





このように一年水中に浸けこんでいると中の樹液が抜け水分と入れ替わる事で、地上で自然乾燥した時に乾燥が均一に進み割れにくく、狂いの少ない材に生まれ変わるとゆう。

桜での水中乾燥は実際は二年ともお聞きしました。



11月初日 一部の桜を厚さ1センチの外皮をめくりました。
自然が作るうねりはなんとも言えないアートな作品ですね。



水中桜

R2 1/初めの様子



一部サンプル用枝部分を水中から上げて輪切りにし、
外の日陰で自然乾燥

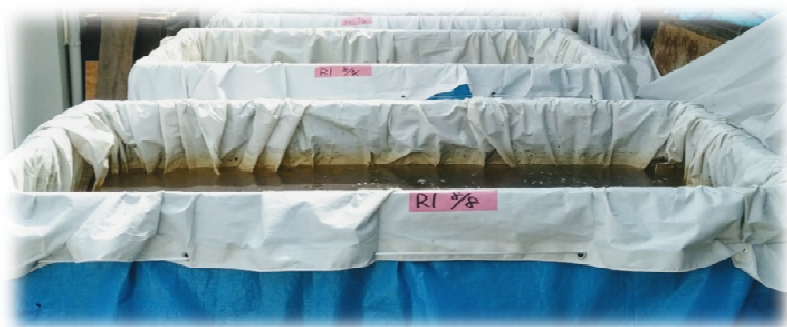


少しずつ中心から乾燥が始まりました。



R2 4/末 普通の生木を切って輪切りにすると確実に割れが入ると切断面が膨れたりへこんだりいたします。

水中乾燥を行ってからの輪切りは10個中現在割れが入っていたのは伐採側付近の一つだけで残りの9個は一点の割れも膨れもへこみもありませんでした。



少し早いですが、温暖でボウフラがわき始めたので引き上げる事に…
水中から今度は地上で1年～1年半の自然乾燥をいたします。



今までの汚れを落とし
木肌も綺麗なままでした。

後は次々に水中からあげていきます。

水中乾燥を終えてみて

現代では人工乾燥が主流で、あまり見られなくなった手法

一度水中に浸けこんでからの自然乾燥

年月はかかりますけど、狂いの少なく、割れも最小限の材料に

お世話はすごく大変でした。

夏はボウフラが発生し、蚊が大量に…（泣）

樹液を吐き出さすので匂いは近寄りがたいものでした。（笑）

皆様に慣れ親しまれた大切さが伝わったからこそ

できたのかもしれない。

もう一度尾崎の町に形ある何かを…



R2,4,30

free-style-wood-worker

一嘉彩工（ひとかさいこう）